栃木県看護連盟会長
伊藤　正子

当選おめでとうございます

石田さん、当選おめでとうございます。「おめでとうございます」を何十回申し上げても足りないぐらい、私共にとりましては嬉しく、たまらない快挙でした。当選とはなんと素晴らしいことでしょうか。

石田さん、長い間、大変お疲れさまでした。全国2,000ヶ所余を巡り、最後は17日間の遊説、厳しい寒さの中、雪の中、うだるような猛暑の中を石田さんは真っ黒になって走り続けました。

そして、看護問題や４つの重点課題（健康・福祉・教育・雇用）について訴え続け、多くの人たちから共感をいただきました。恩師の故・見藤隆子先生にも最高のご恩返しが出来ました。先生も天国で大変お喜びのこととお察しいたします。

また、清水嘉与子前会長の最後の選挙となりましたが、清水先生の看護に対する燃えるような情熱に圧倒される想いが致しました。特に前回の参議院選では、清水先生のご決断を私共は心から信頼し、固く結束して勝利を得ることが出来ました。長い間のご活躍とご尽力、本当にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

投票率49.96%に対しましては無念さは残りますが、石田さんをご支援して下さいました看護の責任者・役員・支部長・諸先輩・会員の皆様方・関係機関・関係団体の皆様方に心から感謝申し上げます。有難うございました。私共は次回もこの歓びを味わいたいものです。今後、看護職の代表三人の先生方が、看護協会から出された政策の実現に向けて益々ご尽力下さいますことを期待しております。

みなさま、今日これまでのご支援とご協力、本当に有難うございました。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

栃木県看護協会会長
河野　順子

自分の身に結びつく政治

看護連盟のみなさまこんにちは。看護連盟と看護協会が一致団結して７月21日の参議院選挙には、石田昌宏（前看護連盟幹事長）氏を政界に送ろうと熱い戦いを行ってまいりました。

開票間もなく、石田氏の当選の報を目（耳）にして皆様も達成感と満足感で一杯だったことでしょう。

日本看護協会の基本戦略にも「政策形成」としてありますように、制度改革への政策提言や国民の理解と賛同を得る働きかけには、国会において看護職以外の議員の方や国民への強いアプローチをする仕掛け人が必要だと思います。

そのためには日本看護連盟のなかで政策通とも言われておりました石田氏が、直接その役割を担われることはまさに適材だと考えます。

投票結果は全国的にも栃木県にもいえることですが看護職が自職能を考えて選挙に臨めば、もっともっと高得点が取れるはずでした。その点では、政治への参加がどれだけ自分の身に結びつけられるかを学ばなければならないと感じました。

看護職が抱えている課題を現場から発信して、国会で奮闘されている阿部氏・高階氏に加えて石田氏に期待して参りましょう。